

新電力PPS事業参入のご報告 Power Producer and Supplier

新電力(PPS)で、電気は選ぶ時代へ

Power Producer and Supplier

プライム・スターがこれまでより安く電力をご提供いたします。

関西電力の大口顧客離脱件数(累計)

※26年度は12月1日時点



プライム・スター株式会社

電力の自由化とは…対象のお客様は『電力会社を選べる』ということです。

電力の自由化は 2000 年 3 月より開始されました。

■ 電力の自由化は、従来、地域の電力会社の独占事業として、公共料金として国際的にも割高な電気料金に、市場参入規を緩和し市場競争を導入することで、料金引き下げを目的にスタートしました。

*規制緩和の典型的な事例 → 通信事業（電話）、航空事業 等

■ 携帯電話の通信料の価格競争や、格安航空会社の参入等と同様に、電気事業も価格競争の時代となりました。

*官公庁でも、入札等により新電力（PPS）から電気を購入する件数が増えています。

電力自由化前

電気事業者

一般電気事業者

東京電力・関西電力等
地域の電力会社

電気

料金等供給
条件は認可等に基づく
規制料金

地域独占

規制

電気の利用者

電気事業者が
増えました

契約電力により
自由化

電力自由化後 現在

電気事業者

一般電気事業者

東京電力・関西電力等
地域の電力会社

電気

料金等供給
条件は認可等に基づく
規制料金

地域独占

規制部門

電気の利用者
一般家庭
商店 等

*今後、規制緩和予定です。

新電力 (PPS)

(特定規模電気事業者)
イーレックス (株) 等
登録社数 132 社 (H26.1 月現在)

電気

お客様が
料金等供給条件
の比較検討、交渉をして、
事業者の選択が可能

自由化部門

電気の利用者
大・中工場、大規模オフィスビル等
大口のお客様

*契約電力 50kW 以上のお客様が対象

電取

競争

新電力PPS:Power Producer and Supplier

2005年以降では契約が特別高圧または高圧（50kw以上）となっていれば、既存の東京電力や関西電力などの一般電気事業者から新電力会社（PPS）に契約の切り替えができる事になります。

一般家庭などの小口需要家向けは、2016年春に全面自由化になる予定です。

切り替えできる契約の例 建物などの例

特別高圧電力B 大規模工場など

特別高圧電力A デパート、オフィスビルなど

高圧電力 中規模工場など

高圧電力 A 小規模工場など

高圧業務用電力 スーパー、中小ビルなど

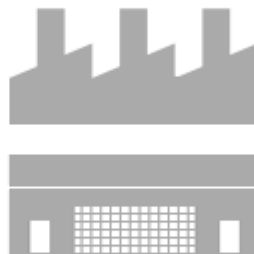
電力自由化の対象となる需要家様(2010年8月現在)

特別高圧



大規模工場/デパート
大病院/オフィスビル 等

高圧



中規模工場/スーパー
中小ビル 等

電灯



一般家庭 等

低圧



小規模工場/商店 等

年間約1～8%程度の電気料金削減が可能なPPS

新電力で供給できる電力は、東京電力などの一般電気事業者に比べるとまだまだ少なく、これから新電力と契約を検討している需要家にとっては、安定して供給できるのだろうかという心配があるかも知れません。いくら電力料金が安くても、時々停電したりするのは困ります。

新電力と契約してもこのような心配がないように、安定して電力供給ができるような仕組みがあります。まずは送電線ですが、新電力と契約しても基本的には送電線が変更になる事はありません。現在の送電線を使って新電力から電力が供給されます。また、発電設備のトラブルなどで一時的に新電力での電力供給ができない状態の場合に備えて、新電力会社は一般電気事業者などから電力を融通してもらう常時バックアップの契約のシステムがあります。これにより、もし新電力が電力を供給できない場合が生じても停電になることなく電力が供給されるような仕組みになっています。

参考) [適正な電力取引についての指針 \(2011年9月5日改定版：公正取引委員会・経済産業省\)](#)

2015年4月17日現在、届け出がある新電力会社（PPS：特定規模電気事業者）は654社あります。また、2016年春には電力の全面自由化に伴い、一般家庭でも自由に新電力と契約できるようになる事から、これからこの分野に進出して来る企業もたくさん出てくると思われます。

PPS事業者登録をいたします。

年間約1～8%程度の電気料金削減が可能なPPS

農業	契約電力	使用電力量	従来料金	エコサブ	削減額	削減率
	46kW	84,622kWh	1,115,374円	1,073,063円	42,311円	3.7%
物流	契約電力	使用電力量	従来料金	エコサブ	削減額	削減率
	116kW	277,817kWh	4,593,154円	4,454,245円	138,909円	3.0%
工業	契約電力	使用電力量	従来料金	エコサブ	削減額	削減率
	192kW	538,214kWh	6,969,937円	6,700,830円	269,107円	3.8%
福祉施設	契約電力	使用電力量	従来料金	エコサブ	削減額	削減率
	223kW	703,253kWh	8,902,685円	8,551,058円	351,627円	3.9%
遊技場	契約電力	使用電力量	従来料金	エコサブ	削減額	削減率
	278kW	990,933kWh	16,952,158円	16,456,691円	495,467円	2.9%
テナントビル	契約電力	使用電力量	従来料金	エコサブ	削減額	削減率
	279kW	806,533kWh	10,659,644円	10,256,377円	403,267円	3.7%
ゴルフ場	契約電力	使用電力量	従来料金	エコサブ	削減額	削減率
	400kW	1,331,520kWh	17,505,091円	16,839,331円	665,760円	3.8%
自治体施設	契約電力	使用電力量	従来料金	エコサブ	削減額	削減率
	338kW	601,536kWh	14,029,490円	13,159,662円	869,828円	6.2%

申し込みから契約まで

STEP1 (組合員→組合)

「接続供給申込書」
「接続供給に関する承諾書」
電力使用実績のわかる書類 (請求書等) ご提出

供給開始日の
3カ月前まで

STEP2 (組合員と電力会社)

現場調査

供給開始日の
1ヶ月前まで

STEP3 (組合員と電力会社)

現場調査に基づくメーター及び自動検針装置の構築工事

STEP4 (組合と電力会社)

接続供給契約の申し込み

STEP5 (組合員→電力会社)

廃止届提出

供給開始日の
2週間前まで

STEP6 (組合員と組合)

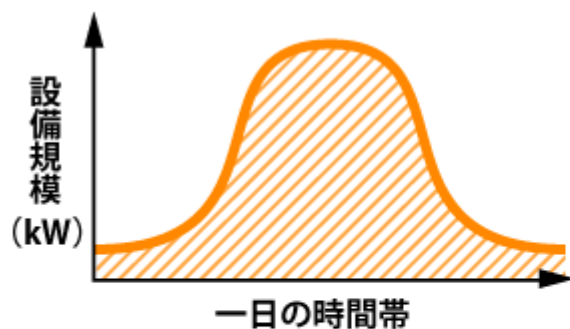
電力需給契約締結

手続完了・給電開始

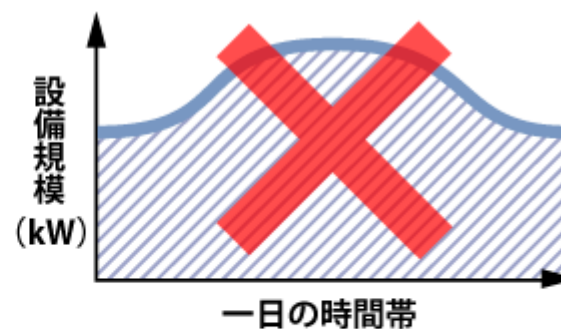
負荷率とは

切り替えて効率がいい場所は負荷率が低い場所です。

「設備規模のわりに電力の使用量が少ない方」(=「負荷率」が低い)です。
その代表的な例が、主に平日の昼間に電力消費が集中する中・小規模の事務所ビル、学校、役所などです。



相対的に電力の使用量が少ない
(=「負荷率」が低い) お客様
→イーレックスとして供給しやすい
例：学校、球場、事務所ビルなど



相対的に電力の使用量が多い
(=「負荷率」が高い) お客様
→イーレックスとして供給しにくい
例：工場、ホテル、病床数の多い病院など

負荷率とは？

契約電力 (kW) に対して、年間どれくらい電力量 (kWh) を使用したかを表す
電気使用の稼働率

= 年間使用電力量 ÷ (契約電力 × 8,760時間)